

消防ポンプ自動車（消防団）仕様書

第1 総則

本仕様書は、生駒市消防本部（以下「消防本部」という。）が、令和8年度に購入する、消防ポンプ自動車（消防団）（以下「団ポンプ車」という。）の仕様について定める。

- 1 団ポンプ車は緊急自動車として、道路運送車両法及び道路運送車両法の保安基準等の関係法規等に適合すること。
- 2 製作は、本仕様書によるもののほか、消防ポンプ自動車の安全基準、消防力強化支援事業補助金交付要綱、関係法令等に適合又は準ずるものとし、緊急自動車として承認が得られ、かつ、日本消防検定協会の受託評価に適合するものであること。
- 3 団ポンプ車の艤装及び装備品等は、指示があるものを除き全て新規製品で最新型とすること。
- 4 車両の艤装材料、装備品及び積載品について、同等品の使用は可能とする。ただし、同等品以上を使用する場合は、事前に本体及び仕様を示す資料を消防本部に提示し、審査を受けること。なお、同等品の解釈は、消防本部の判断によるものとする。
- 5 契約に当たっては、本仕様書を十分検討の上、契約するものとし、契約後における一切の疑義は、全て消防本部の解釈に従うこと。
- 6 製作の進捗に伴い、内容に疑義が生じた場合又は仕様の変更が必要なときは、消防本部とその都度速やかに協議し、消防本部の承認を得ること。
- 7 受注者は、団ポンプ車の納入までに生じたいかなる事故に対しても、その責任を負うものとする。
- 8 受注者は、中間検査等において不適合と認められた箇所及び部品については、直ちに無償で取替又は補修を行うこと。
- 9 団ポンプ車は、引渡日から1年以内に設計製作の不良等に起因する事故又は障害等が発生した場合は、直ちに無償で修理等を行うこと。なお、特殊装置及び資機材等については、各メーカーの保証した期間とする。ただし、特に重大な故障又は欠陥については、前記期間を超えた場合であっても、無償で修理等を行うこと。
- 10 団ポンプ車の登録手続、製作に関連する費用及び廃棄車両の抹消手続等に要する一切の費用は受注者が負担すること。ただし、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険及びリサイクル料は、消防本部が負担する。
- 11 製作に当たり契約期間を厳守するため、延納が発生しないよう工程の設定及び進捗状況の管理を行うこと。
- 12 契約後の打合せにおいて、本仕様書に記載のない事項や軽微な変更については、双方協議し、消防本部の指示に従い、受注者の負担で製作及び積載すること。また、受注者は、打合せ議事録を作成すること。
- 13 団ポンプ車の納入に際しては、中間検査及び完成検査等を行うものとする。

- 14 団ポンプ車の納入後、消防本部が指定する時期に、操作及び取扱いの技術指導を行うこと。
- 15 本仕様書に定めのない事項であっても、団ポンプ車の機能上、当然具備しなければならないものについては、これを充足すること。

第2 製作上の注意事項

製作については、消防ポンプ自動車（CD-1型）として最適な構造で、その機能を十分発揮するため、次の点に留意すること。

- 1 令和8年に国内の自動車メーカーが生産するシャシを使用し、公表した標準取付品が装備されていること。
- 2 製作に使用する材料は、強度及び耐久性を有するもので、全て新規製品で最新型とすること。
- 3 車両全般にわたり防水処理及び防錆処理を施し、長期間の耐久性を有すること。
- 4 接続部は、振動等に十分対応できるものとし、切断部及び材料の粗面等の処理を完全に行い安全性を確保すること。
- 5 各部の点検、清掃、給油及び注視等の管理並びに修理が容易に行える構造とすること。
- 6 塗装剥離及び器具破損のおそれのある場所は、アルミプロテクター等で適切な保護対策を行うこと。
- 7 各装置及び部品等の取付けは、ボルト締めを原則とする。
- 8 全体的に重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分考慮すること。
- 9 シャシ及び艀装に関しては、寒冷地仕様での製作とすること。

第3 提出書類

- 1 受注者は、団ポンプ車の製作に先立ち消防本部と細部の打合せを行い、十分協議の上、次に掲げる書類（A4製本版）各3部を消防本部に提出し、承認を得ること。
 - (1) 主要諸元表
 - (2) 外観5面図
 - (3) 艀装承認図
 - (4) シャシ諸元表
 - (5) シャシ2面図
 - (6) 資機材収納架装図（キャビン架装図含む。）
 - (7) ポンプ装置及び配管図
 - (8) 取付品及び付属品一覧表
 - (9) 使用材料明細書
 - (10) 製作工程表

(11) その他消防本部が指示するもの。

2 団ポンプ車の完成納入時に、次に掲げる書類（A 4 製本版）各 3 部を消防本部に提出すること。

- (1) 完成外観図
- (2) シャン検査表（車検証の写し）
- (3) 日本消防検定協会受託評価プレートの写し
- (4) 取扱説明書及び保証書
- (5) 緊急自動車登録後の写真（前後左右・上面）
- (6) 製作工程ごとの写真
- (7) その他消防本部が指示するもの。

第 4 シャン関係

1 シャンは、国内自動車メーカーの 1.0 トン級ダブルキャブオーバー型で 1 段ポリュームポンプを装備するものとする。また、普通自動車免許で運転できるよう車両総重量は 3.5 トン未満とする。

- (1) 型式 トヨタダイナ
- (2) 全長 5,500 mm 以下
- (3) 全幅 1,850 mm 以下
- (4) 全高 2,400 mm 以下
- (5) ホイールベース 2,545 mm
- (6) 車両総重量 3,500 kg 未満
- (7) 駆動方式 二輪駆動
- (8) 変速機 オートマチックトランスミッション
- (9) 乗車定員 6 人（前 3 人、後 3 人）
- (10) 最高出力 97KW 以上
- (11) 動力伝達装置 水ポンプ用 PT0
- (12) エンジン油温計
- (13) エンジン回転計
- (14) 燃料タンク シャン固有
- (15) エアバック
- (16) バッテリー 80D26L×2
- (17) オルタネーター 12A-80V 以上
- (18) フォグランプ LED
- (19) エアコン 純正品
- (20) オーディオ AM・FM ラジオ（AUX 端子付）
- (21) タイヤ 前輪 175/75R15 後輪 145/80R13

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| (22) ドアロック | |
| (23) シート | 超防汚シート |
| (24) サンバイザー | 左右 |
| (25) ドアミラー | 手動式2面鏡ミラー（運転席側）
電動格納式2面鏡ミラー（助手席側） |
| (26) サイドバイザー | 全ドア（樹脂製） |
| (27) 泥除けゴム | 全輪 |
| (28) スペアタイヤ | 前後各1本（ホイール付） |
| (29) フロントグリル | 純正標準品 |
| (30) フロアーマット | 前後席 |
| (31) 標準工具 | |
| (32) 非常信号灯 | |
| (33) 非常停止板 | |

第5 艀装

1 キャブの構造

- (1) キャブは、シャシ固有の鋼板製ダブルキャブオーバー型とし、乗車定員は6名とする。
- (2) 乗降用の手摺をキャブの各扉両側面に設けること。
- (3) 乗車人員の走行時の安全に必要な握り棒、手摺及び安全帯を設けること。
- (4) 前席と後席の間に手摺を設けること。
- (5) キャブ内の中央手摺に地図等を収納するボックス(A3サイズ)を1個設けること。
- (6) バッテリーは目視にて点検でき本体の交換が容易にできる構造とすること。
- (7) 消防団マークを車両前面中央に取付けること。
- (8) キャブ左右下部の乗降ステップは、アルミ縞板張り幅広ステップとし、端部折り曲げ加工を施し、左右キャブ下前輪後部とポンプ室前との分割式ステップとすること。

2 車体の艀装

- (1) 艀装は総合的な重量軽減、車両重量のバランスを考慮して製作すること。
- (2) 車両の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保し、必要箇所には点検口または点検扉を設けること。
- (3) 車両側板端部は人が触れても危険のない構造とし、各ステップはアルミ縞板にて端部を折り曲げ加工した構造とする。また、車体天井はアルミ縞板張りとすること。
- (4) ポンプ室側板は開放式とし、点検手入れが容易に行える構造とすること。
- (5) ポンプ室上部左右は跳上式の扉付き収納室とし、間口には上下可動式1段手摺を設けホースなどを収納できる構造とすること。

- (6) 車両後面には MCD 製アルミバーシャッター式の器具収納室を設け、内部は1段の可動式の棚で仕切ること。間口には落下防止用のマジックベルト等を設けること。
- (7) 車体左側及び後面に展開式の昇降用モデムプルステップを設けること。
- (8) 車体天井部の前方及び左右に一段手摺を設けること。
- (9) リアフエンダーは丸型とし上部にアルミ小筋板を取付けること。
- (10) 牽引フックを車両前後に設けること。
- (11) 車体天井右側に梯子積載装置を設けること。
- (12) ボディ左前方に旗立てパイプを設けること。
- (13) 車両後方左右側面に 10m 吸管を常時取付けできること。
- (14) とび口は左側面吸管上部に 2 本上取式にて取付け、操法用に斜め下取りができるように取付装置のみ 1 本分設けること。
- (15) キャブ及びボディ部昇降用ステップ並びに各積載品脱着時に塗装の剥がれる恐れのある箇所には保護用のアルミ板を取付けること。
- (16) 各種資機材を取付金具等を使用し積載すること。なお、必要な場合は、箱等を使用すること。【取付位置は別途指示】
- (17) ポンプ室上部の跳上式ボックス内及び後部ボディ内床面には、樹脂製スノコ板を敷くこと。
- (18) 各ボックス内は隙間より水が抜ける構造とすること。
- (19) 各操作部(ハンドル、レバー、スイッチ等)には、名称及び操作方法等を明記すること。
- (20) ナンバープレートは、ボディ後面の右上部に取付けること。
- (21) 車両後部に加納式ホースカー(6 本用・鉄製・ブレーキ付き)を積載すること。
- (22) 車体天井の左右及び後部に作業灯(各 1 個)を取付けること。
- (23) キャブ内にハンドマイクを固定する金具を取付けること。
- (24) キャブ内後部に吊り下げ用フック 4 か所を取付けること。

第 6 ポンプ装置等

1 水ポンプ装置

- (1) 水ポンプ インデューサー付 1 段ポリユートポンプ ポンプ性能 A-2 級
(日本消防検定協会による受託評価の品質評価合格品)
 - ア 放水静圧力 0.85MPa において放水量 2,000L/min 以上
 - イ 放水静圧力 1.40MPa において放水量 1,400L/min 以上
- (2) 水ポンプは、シャシエンジンの PT0(パワーテイクオフ)により駆動され、PT0 の操作は運転席に設けられたスイッチにより行うものとする。
- (3) ポンプの材質は車両全体の軽量化を考慮し、アルミ製とすること。ただし、砂利等の混入に対応できるような強度、耐腐食性も考慮し、インペラは青銅鋳物製(CAC 製)

とすること。

- (4) スペースを有効利用するため、ポンプはギアにより増速を可能とした1段ボリュームポンプを使用し小型化すること。
- (5) キャビテーションを抑制するため、吸入口にインデューサを設けること。
- (6) グランド部はグリスレスのメカニカルシールとし、不凍液、作動油、グレーチングオイル等の使用及び継ぎ足しが必要のない構造とすること。なお、軸先端部もグリスレスとすること。
- (7) ギアケースに給油する必要がある場合は、容易に行えるように給油口を設けること。

2 真空ポンプ(MPDV-90 型)

- (1) 真空ポンプは、ピストンを左右に動かし吸排気バルブにより空気を排出するピストン式真空ポンプとすること。
- (2) 真空ポンプ本体は、注油装置を必要としない完全オイルレス構造とすること。
- (3) 動力の接・断は電磁クラッチによる構造とし、動力伝達については、歯付ベルトによりスムーズな伝達が行える構造とすること。
- (4) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、揚水完了後は自動的に停止すること。
なお、非常用の別系統スイッチを右側に設けること。
- (5) 真空性能吸管外端閉塞にて30秒以内に大気圧の84%とすること。
- (6) 気水分離機を必要としない構造とし、吸水配管内の空気を効果的に排出するため、エアチャンバ方式とする。操作は押ボタン式スイッチとすること。
- (7) 真空ポンプの作動は破損防止のため、自動揚水時エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とし、回転が高い場合には自動的にエンジン回転を低下させた後、適正回転まで上昇する構造とすること。

3 冷却水装置

- (1) 補助クーラー等への配管は通常回路のほかに予備回路を設け、車体側面にあるコックで切り替えできること。通常回路のストレーナが詰まった際には、予備回路に切り替えて放水を停止することなく連続放水が可能とすること。
- (2) 通常回路、予備回路ともにストレーナを備え、ストレーナはガラスボールにより詰まりが無いが容易に状態確認でき、取り外し掃除できること。

4 吸水口

- (1) 吸水口は、呼称75mmボールコック(ストレーナ付)とし、車両両側に各1個設け、75mm×10mの吸管を常時接続する構造とすること。
- (2) 左右ポンプ室側板に、通水確認窓(透明プラスチック製)付きのバイパス装置を設置すること。

5 放水口

放水口は、呼称65mmボールコックとし、車両両側に各2個設けること。

6 中継口

中継口は、呼称 65mm ボールコックとし、車両両側に各 1 個設けること。

7 不凍液装置

水ポンプ及び止水弁の凍結を防止するため、不凍液を注入できる構造とし、装置は外部吸液式で注入口はカブラ式とし、真空ポンプを作動させ不凍液を付属のホースにて吸入できるようにすること。

8 安全機能装置付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は自動調光機能付多目的液晶ディスプレイ(以下「ディスプレイ」という。)とディスプレイの両側面に一体となったパネルスイッチを設け、操作員が容易に且つ安全にポンプ操作が行える様、次の機能を有するものとし、一つの操作盤で全てが行えるものとする。

- (1) 圧力計・連成計(リタード式)は視認性を良くするためφ100 とし、ステッピングモータを用いた電子式(透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ)とし、振動等でも針振れがない構造とすること。
- (2) ポンプスロットルは電子(エンコーダ)式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。なお、表示は PT0 を入れたときのみ反応すること。ポンプスロットルは誤作動を防止するための安全ロック機能を設けること。
- (3) ディスプレイは点検のため、起動用スイッチを個別に設け、PT0 が非作動時でも表示できること。
- (4) ディスプレイは操作盤の中央とし、詳細は以下のとおりとする。
 - ア 取扱表示(取扱説明書データを PDF 文章で表示でき、拡大・縮小もできること。)
 - イ モニター表示(警告モニターとして冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示及び警報ブザーが鳴動すること。また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の状況確認ができ、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計・流量計、積算流量計、放水反動力計を各々デジタル数値により表示できるものであること。)
 - ウ 流量表示(各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流量表示ができること。)
- (5) ディスプレイは視認性を考慮し、7.0 型(インチ)以上の TFT 液晶ディスプレイとし、自動調光機能を装備し低反射型硬質パネルとすること。
- (6) 非常時における真空ポンプ及びスロットル操作はボディ右側に設けられた別回路の手動操作装置にて行えるものとする。
- (7) 操作盤上に真空作動、停止(緊急減圧機能兼用)ボタンを設け、操作性を考慮し、φ20 以上の照光スイッチを使用すること。
- (8) -30℃~60℃の範囲で使用可能とすること。

(9) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保するため、次の安全機能を設けること。

ア スロットル固定機能

不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設けること。ただし、固定した場合でも安全方向(スロットルダウン)には操作できるものとする。

イ 上限圧力設定機能

ポンプ上限圧力値を任意に設定し、設定圧以上にポンプ圧が上がらないためのポンプ圧上限設定機能を設ける。

ウ スロットルインターロック

PT0 がつながらっていない場合は、全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作ができないスロットルインターロック機能を設け、スロットルの開度表示も PT0 が入っている時のみ変化すること。

エ 流量色分け表示

操作盤表示の流量計については放水口を解放時に表示するようにし、車体の左右に関わらず、両側面の放水口の流量が確認できること。また、流量の表示は放水操作時の目安となるように、流量によって表示色が変化すること。流量範囲は、筒先を一人持ちで放水できる範囲、二人持ちで放水できる範囲、二人持ちでも放水できない範囲とし、流量の変化に伴い色変化をする構造とすること。

オ 緊急減圧機能

左右液晶画面外の操作盤付近にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は、即座にエンジン回転数をアイドリングまで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。なお、通常の放水終了時にも使用できるよう、減圧後は、スロットル操作をすれば瞬時にスロットルアップできる構造とすること。

カ 放水反動力表示

安全を考慮し筒先員にかかる反動力の目安とし、筒先口径と使用ホースの本数を入力することにより、放水反動力を液晶パネル内に表示できる構造とすること。

キ ホース耐圧警告機能

ホース破裂による事故防止のため、ポンプ圧力が設定した使用ホースの耐圧以上になると警告表示及び警報が鳴動し、自動的にエンジン回転が減速する構造とすること。設定圧力は 1.2MPa と 1.5MPa とする。

ク ダイアグ機能

不具合が発生した場合に、原因の特定を容易にするため、ダイアグ機能を設け、エラー履歴を 10 件程度記録し、ディスプレイで確認できる構造とすること。

第7 電装等

(1) キャブ天井に赤色警光灯を取り付けること。

- (2) 標識灯は赤色警光灯に内蔵させ、作動方法はスモールと連動すること。
- (3) 艀装用のメインスイッチを設け、作動方法はキーON 連動とすること。
- (4) 電子サイレン用スピーカーは赤色警光灯内蔵とすること。
- (5) 赤色点滅灯をフロントパネルに2個取り付けること。なお、赤色警光灯と連動すること。
- (6) 赤色点滅灯を後面左右に保護枠付きで取り付けること。なお、赤色警光灯と連動することとし、必要な場合に入・切できる構造とすること。
- (7) キャブ内のダッシュパネルに、大阪サイレン製 10 連スイッチボックス(SBW-D1) を取り付けること。
- (8) キャブ内の照明灯は、シャシ標準品とすること。
- (9) 電子サイレンアンプをダッシュパネル内に取り付けること。
- (10) サーチライトは車体前方右側上部、車体後方左側上部に各1個取り付けること。スイッチは本体付近に取り付けること。
- (11) ポンプ室の側面に作業灯を左右各1個取り付けること。
- (12) シャッターボックス内、ポンプ室内、それぞれに室内灯(LED 式)を取り付けること。
- (13) 路肩灯(LED 式)を後輪前方左右に各1個設けること。
- (14) 車幅灯(LED 式黄色)を車両後端左右に各1個を設けること。
- (15) バックアイカメラを車体後面上部に設け、モニターはキャブ内中央上部のバックミラー一部に設けること。なお、モニターは、バックギアと連動し、映像が映ること。
- (16) キャブ内の後部座席下部にバッテリー管理器を設けること。外部からの電源供給用コンセントは右側ポンプ室付近に設け、車体への接続は丸型マグネット式コードとすること。
- (17) 艀装関係のヒューズは、ブレード型とすること。
- (18) キャブ内の助手席付近に LED マップランプを1個取り付けること。

第8 塗装及び記入文字

- (1) 車両鋼材部分の下地塗装は充分錆落としの上、防錆性能が高く長期にわたり錆の発生を防ぐ二液型エポキシプライマー（ハイパーエポキシプライマーSSM）を使用し、パテ、サフェーサ（ウレタンプラサフ SSM）を施工後、十分に乾燥させる。塗料は VOC（揮発性有機溶剤）削減、CO2 削減、環境負荷物質を含まない（特化則対応）環境配慮型ハイソリッド二液型ウレタン樹脂赤色塗料により2回以上の塗装を実施し、その上には光沢と耐候性向上のためクリア塗料を2回以上施すこと。
- (2) アルミ縞板使用部は、無塗装とすること。
- (3) バックミラー裏面及びステータは、シャシ固有とすること。
- (4) シャッターは、赤色塗装とすること。

- (5) ドア厚み部は、シャシ固有とし、ウェザーストリップまでは赤色塗装とすること。
- (6) バンパー塗装は、赤色塗装とすること。
- (7) 車両下回りは、黒色塗装とすること。
- (8) 吸水、中継、吐水配管は、長期の防錆対策としてカチオン電着塗装を行い表面は赤色塗装とすること。
- (9) ボールコックは、赤色塗装とすること。
- (10) ボックス内は、赤色塗装とすること。
- (11) 完成車に次の記入文字及び消防本部が指示するオリジナルシールを貼り付けること。

場 所	文字等	色	字 体	反射
キャブ左右ドア(フロント)	生駒市消防団紋章	白色		有
キャブ左右ドア(リア)	生駒市消防団	白色	丸ゴシック	有
キャブ左右ドア(フロント下部)	機動4	白色	丸ゴシック	有
キャブ左右ドア	ストライプ	シルバー	100mm 幅	
キャブフロント助手席前	機動第4分団	白色	丸ゴシック	有
リアシャッター	機動第4分団	白色	丸ゴシック	
標識灯	機動4	黒色	丸ゴシック	
放水口(右側面前から1,2) (左側面前から3,4)	1, 2, 3, 4	白色	丸ゴシック	有

第9 検査

本仕様書に基づき、消防本部の職員が立会いのうえ、次のとおり検査を行う。

1 実施手続

実施の14日前までに文書をもって行うこと。

2 実施立会

設計担当者が必ず立会うこと。

3 中間検査

製作工程中の適切な時期に受注者製作工場にて実施する。

(1) 材料検査

(2) 部品検査

(3) 組立状況検査

4 完成検査

艀装完了後、消防本部が指定する場所において実施する。

(1) 艀装全体の検査

(2) 中間検査時の指示事項に基づく検査

(3) 装備品、附属品、積載品の員数及び機能検査

(4) 塗装及び記入文字の配列等についての検査

(5) その他発注者が必要とする検査

5 検収

発注者は、車両が納入されたとき本仕様書及び承認図書に基づき検収を行う。

6 発注者及び受注者がそれぞれ必要と認めるときは、特別検査を実施できるものとし、実施にあたっては事前に相互連絡を取り合うこと。

7 その他

(1) 前記の検査を通じ、振動、異音、発熱等の異常を認めた箇所については直ちに修復のうえ、再検査を受けなければならない。

(2) 再検査、納入に至るまでの故障及び修理に要した費用の一切は受注者の負担とする。

第10 補足

1 ドライブレコーダーを団ポンプ車に取り付けること。

2 受注者は、消防本部の指示する時期に廃棄車両の一時抹消登録を行うこと。

3 廃棄車両に艤装されている赤色警光灯、赤色点滅灯、サイレンアンプ及び記入文字等を車両納入日以降で取外すこと。

4 廃棄車両は売却予定であるが、売却できなかった場合は、受注者が車両を引取り廃車処分すること。引取りについては、消防本部が指示する時期とし、廃車及び抹消登録を行ったうえで抹消登録証明書又は当該車両をスクラップ処理したことが判明できる書類を後日、消防本部へ提出すること。

5 廃棄資機材については、消防本部が指定する資機材を引取り確実に廃棄処理すること。

6 団ポンプ車の納期は、令和9年9月30日までとするが、早期納入に努めること。なお、納入場所は消防本部とする。

7 団ポンプ車は、各部清掃のうえ納入すること。

8 団ポンプ車納入後、1ヶ月又は1,000km点検時のオイル交換等は無償とすること。

取付品及び取付装置

No.	品名	型式	数量
1	ポンプ圧力計	100mm丸型（透過光照明灯付 45度張出式）	2個
2	ポンプ連成計	100mm丸型（透過光照明灯付 45度張出式）	2個
3	エンジン回転計	シャシ標準	1個
4	エンジン油温計	シャシ標準	1個
5	赤色警光灯	NF-ML-VK2M-LA1（大阪サイレン）	1式

6	赤色点滅灯	LFA-100（前後）（大阪サイレン）後面保護枠付	各2個
7	電子サイレン	TSK-D151（大阪サイレン）音声合成付 本体（サイレン、警鐘入、拡声装置付）1式 スピーカー1台	1式
8	照明器具	MYS-75LP（車体前方及び後方に各1個）	2式
9	後退警報器	標準品	1式
10	標識灯	赤色警光灯内蔵	1個

軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

No.	品名	型式	数量
1	真空・揚水表示ディスプレイ	右計器盤	
2	ポンプ回転計	ポンプ操作ディスプレイ内	
3	流量計	ポンプ操作ディスプレイ内	
4	積算流量計	ポンプ操作ディスプレイ内	
5	ポンプ使用時間計	ポンプ操作ディスプレイ内	1式
6	不凍液注入装置		1式
7	作業灯	LIA-200（大阪サイレン）左右及び後 各1個	3個
8	反射材	再帰性に富んだ反射材	1式

備えなければならない附属品

No.	品名	型式	数量
1	吸水管	75mm×10m（AC金具・白直線入り）吸口エルボ付 LF-RS（オーサカゴム）	2本
2	吸口ストレーナ	プラスチック製 75mm用	2個
3	吸管ストレーナ	プラスチック製	2個
4	吸管ちりよけかご	プラスチック製 黄色	2個
5	吸管まくら木	ゴム製 75mm用	2個
6	吸管ロープ	SLロープ φ10mm×15m	2本
7	中継口ストレーナ	プラスチック製	2個
8	消火栓媒介金具	75mm ネジメス×65mm 差込メス	1個

9	中継口媒介金具	65mm ネジメス×65mm 差込メス	2個
10	消火栓開閉金具	1200mm	1丁
11	消火栓キー	FHバール、日之出バール36型	各1本
12	吸管スパナ	FCD製 左右各1丁	2丁
13	管そう	PP-65A・EXS・L (YONE) 呼称65 熱収縮グリップ バンド付	2本
14	ノズル(替口)	φ20、φ23、φ26 各1個	3個
15	ノズル	NV-65PCX・S (プロコンペ) (YONE)	2個
16	放口媒介金具	65mm メスネジ×65mm 差込オス (AN-65)	4個
17	とび口	1800mm	2本
18	金てこ	800mm	1本
19	剣先スコップ	木製柄	1本
20	ホース延長用資機材	ホースカー(6本積載)(カバー付)	1台
21	はしご	鋼管製 3600mm 折畳式かぎ付き K-1 (関東梯子)	1脚
22	車輪止め	ゴム製	2個
23	消火器	ABC粉末6型自動車用	1本
24	ポンプ工具		1式
25	ホース	65mm×20m (袴、文字入れ) 37本 40mm×20m (袴、文字入れ) 3本	40本

軽微な変更として備えることができる附属品

No.	品名	型式	数量
1	タイヤチェーン	シングルバンド	1式
2	分岐管	WB-65・65	1個
3	ホースブリッジ	コンパクトブリッジ (大阪サイレン CB450)	1組
4	ワイヤー	牽引用ワイヤー 12mm×5m	1本
5	照明器具	ポータブルシーンライト PSL3600 (充電用コード、ショルダーベルト付)	1式
6	ホースバック	FS1型 (FS JAPAN) ネームプリント付	2袋
7	おの		1本
8	掛矢		1本

9	スタンドパイプ	PS-65・1000（単口引き上げ式）	1本
---	---------	---------------------	----

その他付属品

No.	品名	型式	数量
1	低水位ストレーナ	D75S 自在接手型 ゴミ取りネット付(5枚セット) 取付ブラケット含む	1式
2	背負式消火水のう	ジェットシューターEV	5個
3	発電機	ホンダ EU9i	2台
4	LED バルーン投光器	LED バルーンライト 300W・三脚タイプ WL301 SLBAS-A	2台
5	同径媒介金具	65mm 差込メス差込メス 65mm 差込オス差込オス	各1個
6	拡声器	ER1106S TOA6W	1個
7	バッテリー管理器	ずぼら充電器	1式
8	冷却水ストレーナ キャップ用スパナ		1丁
9	オイルポット		1個
10	工具	TONE K700	1式
11	ブースターケーブル		1個
12	運転キー		4本
13	シャッターキー		4本
14	補修用ラッカー	赤	1個